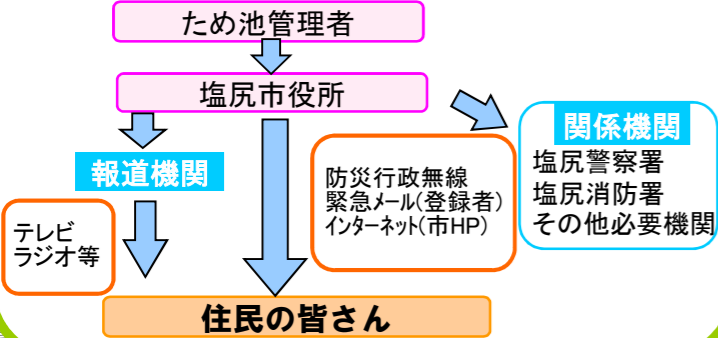


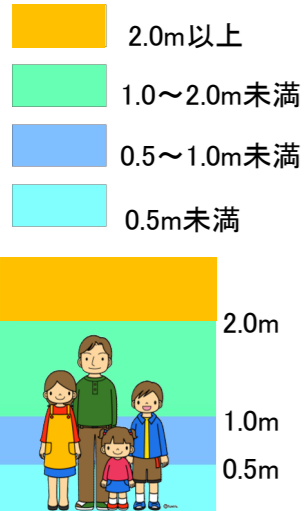
# 本山ため池 ハザードマップ



## 情報伝達経路

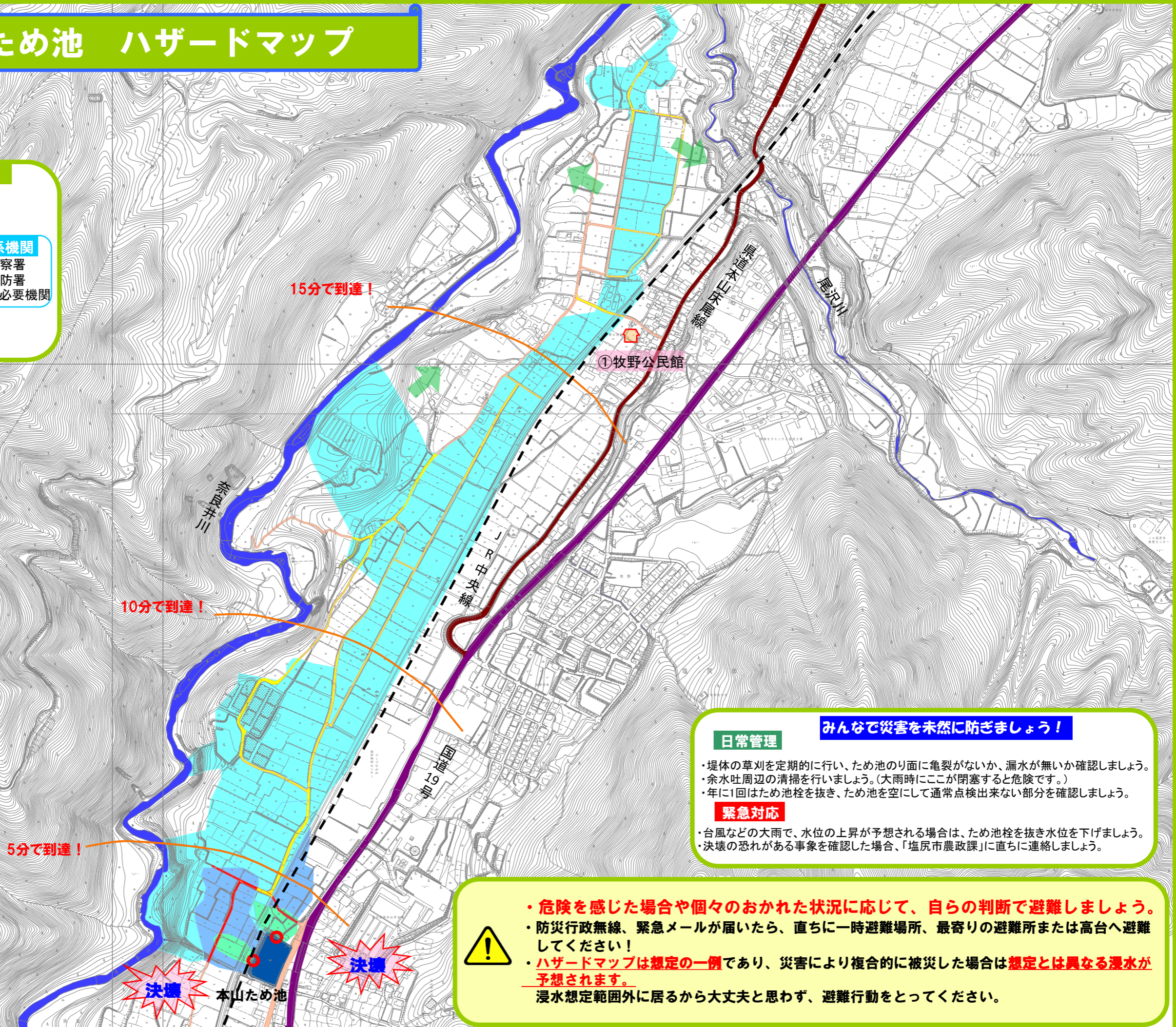


## 浸水の深さ凡例



## 浸水範囲避難路の凡例

- 0.5m以上(ひざ上)が浸水。通行は避ける
- 0.5m未満(ひざ下)が浸水。通行は注意が必要
- ← 避難方向



## 日常管理 みんなで災害を未然に防ぎましょう!

- 日常管理**
- 堤体の草刈を定期的に行い、ため池のり面に亀裂がないか、漏水が無いか確認しましょう。
  - 余水吐周辺の清掃を行いましょう。(大雨時にここが閉塞すると危険です。)
  - 年に1回はため池栓を抜き、ため池を空にして通常点検出来ない部分を確認しましょう。
- 緊急対応**
- 台風などの大雨で、水位の上昇が予想される場合は、ため池栓を抜き水位を下げましょう。
  - 決壊の恐れがある事象を確認した場合、「塩尻市農政課」に直ちに連絡しましょう。

- 危険を感じた場合や個々のおかれた状況に応じて、自らの判断で避難しましょう。**
- 防災行政無線、緊急メールが届いたら、直ちに一時避難場所、最寄りの避難所または高台へ避難してください!
  - ハザードマップは想定の一例であり、災害により複合的に被災した場合は想定とは異なる浸水が予想されます。** 浸水想定範囲外に居るから大丈夫と思わず、避難行動をとってください。

